

調べる学習を考える～基本のスキル～

講師に、大和市教育委員会 教育部指導室 学校図書館スーパーバイザーの藤田利江先生をお迎えして、調べる学習についての研修会を開きました。約100名が参加し、司書教諭としても活躍された藤田先生のご指導の下、実際に調べる学習を体験しながら学びました。



大和市教育委員会 教育部指導室
学校図書館スーパーバイザー
藤田利江先生

研修内容

(1) 「調べる学習」の基本

「学習内容・指導事項の体系化」「学習の手順と方法」「資料の組織化の必要性」について、学校現場の実態に即したお話でした。

(2) 「調べる学習」の体験

小学校高学年を対象とした「チャレンジ調べる学習」に取り組みました。まず、自分が調べたいテーマを決め、「太陽チャート」「そのままカード」「まとめカード」「感想カード」を手順通りに使いながら調べ学習を進め、最後にはリーフレットにまとめる学習です。



示された時間内で、必死に調べを進める参加者

(3) 子どもの「調べる学習」への活かし方

今回使用したカード類は、「研究テーマへの切り口を具体化する」「引用」「考察」「感想」という思考を支えるアイテムとして活用できます。さらに、発達段階に応じてどの学年でもアレンジして活用できます。また、分かる喜びや知る楽しさを体験させることの意味と、調べ方を習得することの意義について学びました。



出来上がったリーフレットで、
分かったこと・考えたことを伝え合う参加者

参加者の感想

- ・あつという間に時間が過ぎた。5年生の子どもになって考えた。「調べて分かること」は面白い。この面白さを、子どもたちにも伝えたい。
- ・子どもと同じ活動をしてみて、子どもがつまずきそうなところや楽しめそうなところがよく分かった。
- ・子どもの思考の流れを体験することができ、分かりやすかった。
- ・調べ学習の新しい方法を知ることができた。すぐに取り入れられそうな、現場に即した研修だったのでよかった。すぐに活用したい。
- ・1枚の資料から、こんなに豊かな調べができ、発見がある。資料を組織化する重要性も感じた。カードが種別に色分けしてあり、子どもも授業者も分かりやすく使いやすいと思った。